



議会だより

2012.8
vol.35

ふじかわぐちこ



西湖ロードレース



富士河口湖町は富士山世界文化遺産登録を推進しています

- 議長就任あいさつ 2P
- このことを決めました 3P
- 代表質問 4P
- 一般質問 6P
- 委員会レポート 8P
- 議会改革 14P
- 視察研修 15P
- 窓・編集後記 16P

平成24年第2回定例議会

こういうことを
決めました!

議長に 外川 正純氏

ラベンダーの香りたようハーブフェスティバル大石会場

平成24年第2回富士河口湖町議会定例会は6月12日に開会し、会期を19日までの8日間と決めて、報告4件、条例の制定1件、条例の一部改正3件、町道の路線認定1件、補正予算7件を審議し、すべて原案どおり可決、承認して、3月19日に閉会した。
この定例会の冒頭で、辞職による議長の選挙が行われ、外川正純議員が新たに議長に就任した。

◆議長就任あいさつ

富士河口湖町議会 議長

外川 正純

昨今の経済情勢が依然として不透明な状況の中、少子高齢化の急速な進展に伴う、社会福祉費用の増大や、地方分権の進展とともに、地方自治を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。

このような中、当議会といたしましても、町民の皆様への代表としての責任を自覚し、負託にこたえられるよう、『開かれた議会』を目指し、『議会改革』に取り組むなど、誠心誠意努力してまいります。

議会運営につきましては、公平無私の立場を貫き、議員各位がそれぞれの力量を十二分発揮できるように、配慮してまいります。

又、町執行部とは、是々非々の立場で、緊張を保ちながら、町民の皆様のご意見、ご要望を十分に踏まえ、町政の課題解決を目指して、努力してまいります。

今後とも、町民の皆様には、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。就任の挨拶と致します。

この度、当町議会議員全員の皆様からのご推挙を賜り、富士河口湖町議会議長の要職に就任することになりました。
身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますとともに、責務の重大さを改めて痛感している次第であります。



一般会計補正予算6,446万円の増額補正

一般会計予算総額108億4,645万円

●報告(報告及び承認) (4件)

- ▼富士河口湖町税条例の一部改正
- ▼平成23年度富士河口湖町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ▼平成23年度小立財産区特別会計繰越明許費繰越計算書について
- ▼平成23年度富士河口湖町一般会計繰越明許費繰越計算書について

※繰越明許とは、やむを得ない事情により予算が使えなかったものを翌年度に繰り越すため、議会の承認を得るもの。

●条例の制定 (1件)

- ▼富士河口湖町暴力団排除条例の制定について

●条例の一部改正 (3件)

- ▼富士河口湖町税条例の一部改正(たばこ税の税率の値上げと、防災対策に必用な財源の確保のための個人住民税均等割の加算)
- ▼富士河口湖町印鑑条例の一部改正(住民基本台帳法等の改正に伴う町条例の改正)
- ▼富士河口湖町船津公園墓地及び小立公園墓地条例の一部改正(未使用墓地が返還された場合の既納の使用料を還付する規定の追加)

●町道の路線認定 (1件)

- ▼町道3271号の路線認定(小曲トンネル周回道路の町道認定)

特別会計補正予算(5件)

- ▼平成24年度船津財産区特別会計補正予算(第1号)
※JA北富士味噌加工場跡地を駐車場にするための造成工事及び看板設置費
- ▼平成24年度小立財産区特別会計補正予算(第1号)
※町体育協会小立支部役員ユニホーム購入費用
- ▼平成24年度勝山財産区特別会計補正予算(第1号)
※小海公園付近のポンプ場廃屋等の解体撤去工事費
- ▼平成24年度富士河口湖町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
※人事異動による職員の人件費
- ▼平成24年度富士河口湖町水道事業会計補正予算(第1号)
※都市計画道路船津小海線道路工事に伴う水道本管の切り直し工事費

さ ど ゆたか 佐渡 裕 氏を特別町民に

今年で11回目を迎え、その間に山梨県文化賞、国の地域再生大賞「特別賞」を受賞するなど、全国に知れ渡っている「富士山河口湖音楽祭」。この音楽祭に最初から監修者として深く関わっていただき、町の音楽文化の向上や、町の魅力を広くPRするなど当町のイメージアップに大きな貢献をされ、世界的な知名度を持つ佐渡裕さん。

6月定例会に、町長から特別町民への推挙の提案がされ、全員の賛成で承認されました。

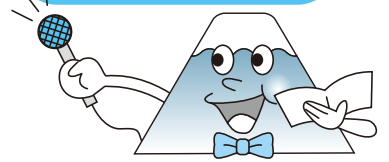
●同意案件 (2件)

- ◆小立財産区管理委員選任の同意
○渡邊 桂 氏
- ◆大石財産区管理委員選任の同意
○堀内 金悟 氏
○梶原 尋延 氏

●組合議会議員の選挙 (3件)

- ◆鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員選挙
○当選人 大嵐426 渡辺 栄治 氏
- ◆河口湖南中学校組合議会議員選挙
○当選人 大嵐426 渡辺 栄治 氏
- ◆富士五湖広域行政事務組合議会議員選挙
○当選人 小立1576 渡辺 洋 氏

知りたい！
聞きたい！



親樹会

代表・関連質問



親樹会 代表質問者
渡辺 元春

1 「富士山世界文化遺産登録」 実現への対応は

質問 イコモス現地調査への対応、構成資産の保存管理体制の現状と今後の方向を伺う。
「世界文化遺産登録」に向け町民の盛り上げをつくることは、気運を高める上で重要課題と考える。地域住民全体の意識改革、体制づくりについて町の考えは。

町長 「富士山世界文化遺産登録」は、今年の夏から秋にかけてイコモスによる現地調査が実施される。イコモス現地視察への対応は文化庁、山梨、静岡両県、その他構成市町村との綿密な事前協議を行い、各構成資産の価値や保存管理状況を的確に説明できるよう準備を進めている。

2 湖の水質保全と 環境整備の取組みは

富士山世界文化遺産登録は地域づくりの最良のツールとなる。環境や景観への関心を高める機会を充実し、町民が知識や教養を身につける。また、景観スポットづくり、町や構成資産を案内できる人材の養成などを図る。
関連質問（梶原 武） 町内の小・中学校で「富士山の世界文化遺産」の価値を教える富士山教育は、どのようにしているか伺う。
教育長 小学校5・6年生と中学生は総合的学習の時間の中で実施している。今年改訂された副読本「私たちの自然」の中で「富士山と世界文化遺産」の項目を増やした。各小・中学校ではこれを活用している。

質問 今年5月11日、県や関係者を交え「湖の水質を考える意見交換会」が開催された。町は今後の湖の水質保全と環境整備をどの様にとらえ、取り組むか。

政策財政課長 湖底の汚泥、ヘドロの状況調査や親水護岸の整備等を国・県に積極的に働きかけていく。6月下旬、湖周辺の廃船の回収、廃材・廃屋の撤去処理を予定している。

富士五湖が風光明媚な観光地として発展するため、県と「明日の富士五湖創造会議」を設置し湖ごとに議論している。

関連質問（渡辺余緒治）湖畔への車の乗り入れを規制せよ。
政策財政課長 環境保全と安全性の見地から、看板や表示方法等を県と協議し進める。



湖畔清掃

3 通学路・歩道の安全対策は

質問 本年4月、京都府で集団登校中の小学生の列に車が突っ込み、2人が死亡8人が重軽傷を負う事故が発生した。当町の通学路・歩道の安全確保はどのようにしているか伺う。

都市整備課長 通学路は管内小・中学校が指定し、学校並びにPTAが通学路の安全点検を実施している。町道の道路管理者である町は、各学校からの通学路の状況等を聞き、安



朝の通学

全確保に努めていく。

関連質問（梶原 武） 登下校中の児童・生徒が犠牲になる交通事故が全国で起きている中、当町の学校、保護者、教育委員会での安全確保のための対策会議の予定を伺う。

学校教育課長 学校に通学路の点検結果の報告を6月29日までにお願している。報告を受けた後、学校、保護者、道路管理者及び警察署と合同点検をし、対応策を検討する予定である。

4 婚活の取り組み

質問 婚活実施は、しっかりとした目的意識を持って取り組んでいただきたい。一般的なお見合いパーティーのようなイベントを開催するだけではなく、現状を分析し、成果につながる可能性のある、地域の特色を生かした事業を期待する。今後の方針を伺う。

福祉推進課長 具体的な活動計画は定まっていない。湖や富士山を背景とした豊かな自然と町の文化及び歴史などのよさをPRできる場所を婚活イベントの会場とし、男女が共同で行うボランティア及びレクリエーション活動などを通してお互いの魅力を引き出すよう配慮をしたい。

関連質問（渡辺余緒治） 役場内部の検討会は具体的にどのような形で行っているか。

福祉推進課長 庁内検討会は課長、課長補

佐、これから結婚される若い方々18名で構成され、5月9日に最初の会議を開いた。婚活イベントが円滑に遂行されるように組織された。検討会では男女が参加しやすくなる方策、参加者の年齢の範囲、イベントの周知の方法等を慎重に検討している。

5 国民文化祭に地元の伝統文化を

質問 来年1月から山梨県で実施される国民文化祭事業で、当町ではステラシアターを中心に音楽事業が行われる予定である。

当町には無形文化財に指定された「稚児の舞」、「ヤートコ踊り」、「六斎念仏」があり、地域の伝統芸能を継承している。ステラシアターでの国民文化祭のイベントで、これらの伝統芸能を発表できないか。

文化振興局長 すでに4つの音楽プログラムを担当することで固まっており、プレイガイドブックも本年9月に発行予定である。伝統芸能を発表する機会を作ることには困難である。

県と市町村等の共催で中央道下り線の談合坂SA内で、山梨の地域性あふれるパフォーマンスを披露し、国民文化祭をPRしている。この機会を利用して地域の伝統芸能を披露してはどうか。

知りたい！
聞きたい！



健康のまちづくりは、 年に1度の健康診断から



一般質問者
佐藤 安子

質問 国は特定健診受診率65%を目標としている。当町は低いときいているが、受診率と受診率向上に向けた具体的な取り組みは。さらに、人間ドックは40歳から65歳まで5歳間隔が対象だが、受診したいという全年齢を対象にできないのか。

住民課長 平成23年度の特定健診の受診率は、法定報告前の数値で28・2%。人間ドックの受診率は28・4%。さらに75歳以上の受診率は4・1%。

受診率が上がらない要因は、住民の意識に問題もある。向上に向けた取り組みは、徹底した受診勧奨。本年は、連続未受診の方を対象に、個別通知を差し上げる。

人間ドックは、関係機関と健康増進課と連

一般質問

携を図り、来年度の健診に向けて検討。

子宮頸がん検診に HPV検査の併用を

質問 子宮頸がんは唯一予防できるがんとして、予防接種と検診でがん撲滅が可能と言われている。子宮頸がんの確実な発見として、従来の細胞診に加え、発症原因であるヒトパピローマウイルスへの感染を調べるHPV検査との併用検査で、前がん病変の発見率は、細胞診のみでは70%であったものが99%まで高まる。現在行っている町の子宮頸がん検査（細胞診）にHPV検査を併用した取り組みを、健康増進課長 ご提案の細胞診とHPV検査の併用についても、富士北麓衛生行政研究会

で今年度は調査研究事項として話題に上がっ



女性の健康づくりイベント

ている。実施の対象者、方法、公費助成の割合、医師会との調整等々、具体的な協議を進めていきたい。

不妊症、不育症の方の 公費助成を

質問 不妊症とは結婚して2年たっても妊娠しないこと。不育症とは妊娠しても流産や死産を2回以上繰り返し、赤ちゃんがおなかで育たない。どちらも、適切な治療を受ければ出産にたどりつける。しかし、治療は保険適用外で高額。不妊治療助成制度は県内のほとんどの自治体にあるが、当町には制度が無い。少子化対策の意味からも、不妊症と不育症をあわせて公費助成を。

町長 生まれた子供や妊婦に対する支援事業は実施している。今後はさらに新しい命への支援もしてまいりたい。そこで、不妊治療助成制度を来年度の事業実施を目指し、具体的な検討に入りたい。

不育症についての理解を深めるため、不育症という疾患が存在し、治療をすれば子供を授かることができるということを知っていただく、そのための広報活動や県の相談窓口の周知を図っていきたい。

○その他の質問

学校施設の非構造部材耐震点検及び対策の実施について

1 避難訓練の見直しを 避難場所の周知徹底を

質問 想定される災害や避難方法は地域ごとに違う。災害時にすぐに動けるように、実際に近い形の訓練をめざすことが大事。毎年8、9月の総合防災訓練は、船津・浅川地区は何か所に集まって実施しているが、いくつかの避難場所に分けて実施すべきではないか。また、指定避難場所の周知徹底を。

避難場所一覧などを配布

総務課長 訓練会場の細分化は、課題を整理したうえで対応。また、区、自治会単位で自主防災組織をつくり、地域ごとの訓練を実施しているところもあり、町として、支援強化を行っていく。避難場所一覧などを作成し、全世帯に配布する。

2 配食サービスの充実を

質問 ひとり暮らしの高齢者などへの配食サービスが、今年4月から祝日の実施が行われなくなり、事前の周知も不十分で困った、という声がある。内容変更のときは、利用者さんの意見を良く聞き、せめて一か月前には周知を。また、福祉委員さんの協力を得るなど体制を強化しながら、安否確認の意味も持つこのサービスの対象者拡大などの検討を。

福祉推進課長 事前の周知が不十分で、町の

対応として配慮に欠けていた。今後、内容変更があった場合は早くお知らせする。対象者拡大は、関係者の意見を聞きつつ対応する。

3 町営住宅北八津団地の 建て替えを 改修の予算増額を

質問 非正規雇用の増加などによって生活困難な方が増え、住宅の確保が困難という相談を受けることがある。当町には合計146戸の町営、県営住宅があるが、その戸数は県内市町村に比べて少なく、常に入居待ちという状況である。北八津団地は、耐震性に問題がある。借り上げ方式なども含め、建て替えなどの検討を。また、痛んでいる箇所の改修の予算増額を。

都市整備課長 借り上げ方式は、民間住宅が公営住宅の基準を満たすことが難しく、県内



一般質問者
山下 利夫

一般質問

4 富士ヶ嶺地区への 町営住宅建設を

でも実例はない。試算の結果、耐震補強には多額の費用がかかることも判明。それらをふまえ、公営住宅の整備計画をつくり、検討する。

質問 実際に、富士ヶ嶺地区へ移住したいが住む家がない、という声がある。昨年12月議会でも質問したが、町営住宅建設の検討を。

政策財政課長 「富士河口湖町過疎地域自立促進計画」に建設計画を明記。需要動向の確認、財政面の検証、地域住民との意見交換、などを行い結論を出していく。

○その他の質問

富士ヶ嶺地区旧Aコープそばのトイレの改修を



町営住宅北八津団地

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

地域防災計画の見直しに着手！

防災会議に 女性の登用を

質問 防災対策の見直しにかかる男女共同参画の推進は、具体的にどのようなように取り組んでいくのか。

総務課長 防災会議については、消防長、警察署長などの当て職的な方は現在ほとんどが男性である。その他の部分で女性をできる限り登用をしていきたい。役場内で選任される職員には、課長に限らずできるだけ女性を入れた中でこれを設置していきたい。

机上訓練の実施を

質問 防災に関し机上の訓練をぜひ実施すべきという話を過去に数回したが現在行われているか、また実施する計画があるか伺う。

総務課長 町独自では現在机上訓練は実施していない。県とのやり取りの中、防災訓練というところで机上訓練を何回か実施している。

質問 現職の消防団員、消防団OB、自衛隊OB、そういう方々を集めた中で机上訓練の実施に積極的に取り組んだらどうか。

町長 防災に関しての非常に重要な懸案事項と受けとめている。できるだけ大勢の町民に参画していただく中で、机上訓練を視野に入れて取り組んでいきたい。



災害に備え役場各階に常備されたヘルメット

はっぴ 法被の配布を

質問 合併による経費削減のため、我々議員の法被は正副議長と消防委員のみの配付で、今回の訓練の際に機材の点検にも行けない状況であった。また、地元の火事には議員が馳せ参じるというのが任務だと思うので、法被配布をぜひ前向きに考えていただきたい。

総務課長 議員も出られる機会が多いと思うので、費用面が理由なのか過去の経緯ははっきりしないが検討する。

作業着の統一を

質問 もう合併10年を迎えるが、現在は町職員の作業着が統一されていない状況である。有事の際に町職員だと認識できるようユニフォームを統一することが大事だと思うがどうか。

総務課長 数年前から職員の中からもそういう意見があり、4月当初の課長会議の中で、ここで一回そろえようという話になった。現在注文をすべての職員から取っている最中である。

防災のリーダーの 訓練、育成を

質問 地域防災力の強化ということで、防災リーダーの訓練、育成をどのように行っているか。

総務課長 船津FDR、大石ODR、河口KSCという消防団員OBを中心とした組織で、年数回講習会に参加していただき、専門的な知識を習得し防災リーダーたる人になるための訓練、育成を行っている。

質問 町民みずからが防災士になり、町のために協力しようという人がいる。そういう人々たちを活用して地域のリーダーになってもらうてはいいかがか。

総務課長 そういう人たちの貴重な思いをしつかりと受け止め、活用できるよう心がけていく。

質問 児童・生徒の通学路及び避難路について点検し、危険箇所などを洗い出し対応していくことが大切だと思うがどうか。

総務課長 そのことについて陳情も入っている。町としてもできることはやるということで前向きな対応を今考えているので、危険箇所に気づいたら指摘していただきたい。

○その他の質問事項

- 1 ・健康科学大学の入学生244人に戻る。
・町長が健康科学大学の理事に就任。
- 2 ・クニマスの稚魚を一般公開。町での公開は西湖蝙蝠穴にて7月20日から一か月間。
- 3 ・町の企業誘致は合併後3件に留まっているが、大変重要な課題であり企業立地推進室を立ち上げ積極的に進めたいと考えている。



クニマスの稚魚を展示中の西湖蝙蝠穴管理施設

介護慰労金の 支給基準の周知を

質問 介護慰労金の支給基準を、広報やホームページなどに掲載する、と昨年12月議会で答弁があったが、どうなっているか。

福祉推進課長 広報7月号に、ホームページには6月より掲載する。

小中学校の 富士登山計画は

質問 小中学校の富士登山計画についての動きと今後の計画は。

学校教育課長 6月8日、第一回の富士登山検討委員会を開催。6月28日の第二回検討委員会では今年の富士登山案の承認をいただき、7月には登山参加者に説明、8月7日、8日に登山の予定。

精神障害者への タクシー料金助成を

質問 精神障害者へのタクシー料金助成の実施を検討していると思うが、進展は。

福祉推進課長補佐 富士北麓の自立支援協議会で、タクシー協会に要望を出したが、良い返事がない。今後も要望していく。

ノルディック ウォーキングへの対応は

質問 「山梨県の女性の一日平均歩数が全国最下位」と報道されたが、具体的な施策は。

健康増進課長 毎年、健康のまちづくりウォーキングを実施しているが、参加者は横ばい。今年度、健康のまちづくり計画を策定し、広報やホームページを通して、魅力あるウォーキングコースの紹介、ウォーキングへの参加のよびかけなどを行っていききたい。

質問 町民が実施しているノルディックウォーキングへのタイアップを、町として考えては。

健康増進課長 協会の方からも要望を受けている。町としても、町民のみならず、いろいろな形でスポーツに取り組み、健康づくりを進めていくことには大賛成。



毎年恒例のもみじマーチ

2 文教社会常任委員会

子ども未来創造館への 正規職員配置を

質問 子ども未来創造館は、多くの方が利用している。利用者数は。

生涯学習課長 乳幼児、小学生が、祝祭日以外、毎日利用している。一日あたりの利用者数は、平日100～150人、日曜日200人、夏季・冬季休暇200～300人ほどである。年間合計で1万5000人ほどになる。

質問 職員は何人で対応しているのか。

生涯学習課長 臨時職員2人に加え、ボランティアの協力を得て対応している。

質問 これだけ多くの町民が利用しているなかで、何かあったときにどうするのか。保育士など正規職員を配置することも考えるべきでは。

町長 生涯学習課からも要望を受けている。今後、責任ある体制をつくっていく。



子ども未来創造館で遊ぶ子どもたち

少人数学級、 英語教育の充実は

質問 中学校の少人数学級推進について、現状は。

教育長 町立3校のうち、西浜中はすでに少人数学級。北中、勝山中には、町単教諭を1人配置している。

質問 A L Tと連携した英語教育の充実について、どのように実践しているか。

教育長 平成22年から、A L Tを3人に。外国人がいることで、外国人への接し方も自然に覚えるなどの効果がある、と学校からは聞いている。

※A L T＝英語指導助手

カナダ雁の駆除の後処理は

質問 カナダ雁の駆除で捕獲した後の処置は
農林課長 処理はすべてサポートセンターに任せている。詳しくはわからないが一部は動物園、一部は安楽殺になる。

国調、地籍調査事業の予算と成果は

質問 国調、地籍調査事業は国の補助事業だが町はどのように進めているか。

農林課長 本年度は富士ヶ嶺地区の区画地籍調査を中心に、大石、河口地区等の認証に向けての作業を進める予定である。

質問 国調の成果が上がっていないが。

農林課長 地籍調査で認証がされていないところは、境界確認ができていない部分があるために未認証となっている。今後、この境界未確定の地権者に対し通知し、確定をしないまま未認証という承認をいただく中で、認証に向けて進んでいきたい。

水道の耐震化の財源は

質問 水道の耐震化はどこを優先して行い、どのくらい費用がかかるのか。

水道課長 船津・小立・勝山も入る上水道ということで、配水管の耐震整備区域のおよそ32%の耐震化を進め、総延長はおよそ28・8km、耐震化費用は25億4000万円になる。

質問 その財源はどうするのか。料金改定の必要性について懸念されるが水道会計で全部



オオカナダ雁

やるのではなく一般会計からも投入してはどうか。

水道課長 水道事業会計は地方公営企業法を適用している。経営の健全化の促進とその経営基盤の強化を図るため、公営企業への繰り出し基準を定めており、公営企業法の経費は、災害または特別な事由を除いて公営企業の経営に伴う収入を持つて充てなければならぬと決められている。

水道事業会計では、繰り出し基準に合うものに対し繰り出しを受けている。

質問 漏水も改善すれば電気代のコストも抑えられる。料金改定の多少は避けられなくとも上げ幅の抑制は必要だ。どのように対処するか問う。

水道課長 有収率が低いので、現在漏水調査の予算を計上し、今月業者に漏水調査を委託し有収率の向上を図っていく。

質問 排水溝や浸透ますの清掃を自治会などの協力を得て実施せよ。

都市整備課長 過去には各自治会で実施していたようだが現在はしていない。自分のところは自分たちでやっていくという機運を盛り上げていく方向を考える。

湖上祭の露店出店は

質問 昨年の湖上祭は寂しいとの声があるが、今年の露店はどのような計画か問う。

観光課長 船津浜と平浜に40小間の出店を募集した。地元優先で申請書と同時に、暴力団と関係ない誓約書をつけていただき、警察に確認をして出店を認めるということになる。

質問 観光課に新しく産業係を設置するが、どのような形で進めていくのか問う。

町長 これは私のマニフェストで公約になっている。基本的には地元の産業と連携をとり、お互いに町として支援強化できることがあるかどうかを目的としている。

質問 冬花火は一番閑散した時期に開催され、必要不可欠なものと思われる。予算面では財産区負担金や温泉旅館協同組合の支援に頼っているが考えを問う。

観光課長 冬花火負担金として財産区から180万円。もし陸地で上げると保安距離等の問題があり、花火も制約される。当初予算内でどうできるか検討している。

質問 5月に町長は台湾を訪れたがその目的は。

町長 本栖湖畔にある佛光山から要請があった。一番の目的は10万人ほど集まるということとで、観光のPRを基本にして行く価値があると判断をした。同時に台湾の観光局等も表敬訪問した。



もみじ回廊の遊歩道拡幅と安全柵の工事は

質問 梨川もみじ回廊東側の遊歩道拡幅と安全柵の工事は紅葉まつりまでに完成するのか。

観光課長 紅葉まつりの開催までには間に合わすように進めている。



もみじ回廊

議会改革推進特別委員会

議会改革 推進中

第1分科会

学ぶ議会について

現在都留文科大学と連携協定を進めている

1. 議員研修の開催
2. 議会基本条例制定に関わる指導、助言
3. 都留文科大学との交流

第2分科会

行動する議会について

1. 住民との対話集会の開催
2. 議会だよりにより町内各種団体との意見交換を掲載
3. 議会報告会の開催

第3分科会

議会基本条例について

町議会の内規の精査

休日や夜間議会の開催と全員協議会の公開を、検討
反問権についての検討



議会改革推進特別委員会

「議会改革」と「防災対策」を学ぶ 議員の視察研修を実施

大分県九重町
長崎県島原市

5月22日から25日の4日間にわたり、町議会議員の視察研修を実施しました。

今回の研修は、町議会で行っている「議会改革」と、想定されている東海地震や富士山噴火に備えるための「防災対策」を重点に行いました。

「議会改革」の研修は 大分県九重町

「議会改革」の研修は、夢大吊橋で知られる大分県九重町（このえまち）を訪ねて、先進地の取り組みを学びました。

九重町は、大分県の南西部に位置する人口約10,600人の、自然豊かな町です。

九重町では、議会改革への取り組みとして、議会報告と議会の果たす役割を説明し、町民の意見を聴く「お出かけ議会」を町内各地区で開催しているとのことでした。

お出かけ議会は、すべての市町村議会が目指している開かれた議会を実践する、一歩先を行く取り組みと言えます。

さらに、今年の6月議会からは、議員の質問に対して執行部側から逆に質問することができ「反問権」を議会に取り入れる

ることでした。

反問権は諸刃の剣として、質問議員にも質問に対する真摯な姿勢、質の高さが求められ、議会での質問戦の質が高くなるものです。

九重町は、農業と観光が主産業の町で、富士河口湖町とは共



九重町議会視察

通する課題も多く、質疑応答・意見交換に入ると活発な質問と意見が出され、実のある研修となりました。

「防災対策」の研修は 長崎県島原市

「防災対策」については、雲仙・普賢岳噴火災害からの復興

に今なお取り組んでおられる、長崎県島原市を訪問して研修を行いました。

島原市は、長崎県の島原半島の東端に位置し、島原半島の中心的な存在として発展してきた人口約48,100人の市です。

平成2年に噴火した普賢岳で、翌年は大火砕流が発生し、46名もの人々が犠牲となる大きな災害に見舞われ、現在もその復興作業が続けられています。

研修では、最初にスライドを見せてもらい、その後、災害の経過・復興の状況・これからの課題について詳細な説明を受けました。

復旧の中での特長的な事業として、私達議員が興味を持ったのは、「安中三角地帯嵩上（かさあげ）事業」で、この事業は、土石流により大量に発生した土砂等を、安中三角地帯の安全確保のため嵩上げに利用しつつ、土砂の処分料として当時の建設省に嵩上げに必要な経費負担をお願いした、住民にとって誠に有利な事業です。私達の質問にも熱がこもりました。

富士山を目の前に仰ぐ富士河口湖町議会にとって、学ぶことの多い研修内容でした。



島原市議会視察

最終日は、周囲1・2kmの中に5,300人以上が住んでいるという「端島（はしま）＝通称軍艦島」に上陸しての視察研修を行いました。軍艦島を世界遺産にという動きもあるようで、こちらも富士山世界文化遺産登録を目指す当町と、共通点がありました。

お世話になった両市・町の皆さんに、この紙上で改めて感謝致します。ありがとうございました。

朗読「エトワールの会」の活動を通して



エトワールの会 会長

古屋 知子（船津）

「何か自分にできることで、他の人の役に立てたら」と始めたのが、声のボランティアです。

町の社会福祉協議会が視覚障害者のために作っている「声の広報」朗読ボランティアの募集と、朗読講習会を契機に、受講者の中から有志が集まり「朗読エトワールの会」が発足しました。

今年で18年目となります。

月に一度の勉強会を始め、これまでにプロの朗読会を聞きに行ったり、男女共生ヌエックの全国交流会で読ませていただく機会もありました。

そして、図書館での季節の朗読会、絵本の読み聞かせ、講談社の「全国訪問おはなし隊」にも協力しています。

今年の6月には「第10回朗読の夕べ」を開催し、100余名の方々に「生の声」を届けることができました。

ほんの僅かな気持ちから始めた事ですが、子供達の輝く笑顔に励まされ、多くの方から「元気」と「心に沁みる言葉」をいただき、



朗読「エトワールの会」

私の方が支えられて今日に至ります。

今後は、デジタル機器の購入とCD編集を目標に、一人でも多く一緒に活動をして下さる方を増やせたらと思っています。

声を出すことは、健康にも良いそうです。一緒に本を読んでみませんか。

議会を傍聴しませんか 次の定例会は9月です。



夕日に染まった
吊るし雲

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

ハーブフェスティバルを楽しんできた。大石公園や八木崎公園では紫色のラベンダーが咲き誇り、心地よい香りを一帯に漂わせている。多くの観光客は香りをいっばいに吸い込んでご満悦。議会活動の合間、花作りや野菜作りにも夢中。そしてデジタルカメラ、意外にむずかしく奥が深い。シャッターを押せばそれなりに写るのだがきっちり撮ることはむずかしい。議会だよりの写真が評価されるよう

に願いつつ被写体の中を覗き込み、ああしようとうしようにカメラをいじくりまわし、時間の経つのを忘れてしまいます。
（堀内昭登・記）

議会だよりの編集特別委員会

委員長 佐藤 安子

副委員長 堀内 昭登

委員 渡辺 元春

小佐野 快

梶原 武

山下 利夫

三浦 康夫

発行口富士河口湖町議会

編集口議会だよりの編集特別委員会

〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167